



弘前大学 被ばく医療総合研究所 特別セミナー

日時

令和7年11月26日（水）14:30～15:30

場所

大学院保健学研究科F棟 1階 大学院講義室 1
（対面のみ）

《演題》

「地盤によって異なる地震の揺れ」
－ 東日本大震災時の浪江町の地震動を考える －

《講師》

弘前大学名誉教授

片岡 俊一 氏

（前：弘前大学大学院理工学研究科・教授）



日本人は地盤によって地震の揺れが異なると信じていると思います。本講演では、地震の揺れにおよぼす地盤の影響に関する研究を紹介し、その一環として、現在の震度を説明します。

弘前大学では東日本大震災以降、浪江町の復興を支援しています。浪江町ではこの地震の際に震度6強が観測されましたが、全国的に見ても震度6強となった観測点は多くはありません。浪江町は浜通りのなかでも強い揺れに見舞われました。そこで、本講演では、なぜ浪江町で震度が大きくなったかを考えます。

参加方法

事前申込み不要です。直接会場にお越しください。

【問合せ先】 弘前大学 被ばく医療総合研究所総務グループ

TEL: 0172-39-5401 E-mail: jm5401@hirosaki-u.ac.jp